

高校生 ICT Conference 2019

in 大阪

人はなぜ SNS を使うのか？ ～改めて考える SNS の使い方～

開催報告書

2019 年 9 月 1 日(日)

10:00-17:30

【会場】内田洋行・大阪ユビキタス協創広場 CANVAS

主催

高校生 ICTカンファレンス実行委員会

(構成団体)

安心ネットづくり促進協議会

大阪私学教育情報化研究会

一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会

共催

内閣府、警察庁、消費者庁、総務省、文部科学省、経済産業省

2019 年 12 月 11 日

目 次

1. 開催概要.....	2
2. 高校生 ICT Conference 2019 地域開催.....	4
3. 高校生 ICT Conference 2019 in 大阪 開催概要.....	5
4. 主担当.....	9
5. 高校生 ICT Conference 2019 サミット.....	9
6. 高校生 ICT Conference 最終報告会.....	9
7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応.....	9

1. 開催概要

名称：	<p>高校生 ICT Conference 2019</p> <p>テーマ： 人はなぜ SNS を使うのか？ ～改めて考える SNS の使い方～</p>
主催：	<p>高校生 ICT カンファレンス実行委員会 (構成団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安心ネットづくり促進協議会 ● 大阪私学教育情報化研究会 ● 一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会
共催：	内閣府、警察庁、消費者庁、総務省、文部科学省、経済産業省
後援：	大阪府高等学校情報教育研究会、兵庫県私学教育情報化研究会、一般社団法人せんだんの会、情報教育学研究会(IEC)、一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会、全国高等学校情報教育研究会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、一般財団法人マルチメディア振興センター、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構
協賛：	グーグル合同会社、株式会社ディー・エヌ・エー、一般社団法人情報教育研究所、株式会社ラック、グリー株式会社、株式会社サイバーエージェント、株式会社インテグラル、エースチャイルド株式会社、Twitter Japan 株式会社、株式会社ベルパーク、株式会社メディア開発総研、アルプスシステムインテグレーション株式会社
協力：	株式会社内田洋行、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、デジタルアーツ株式会社、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、ストップイットジャパン株式会社、
開催目的：	<p>高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加、その後順次規模を拡大し、2018 年度には、全国 18 拠点にて開催し、計 137 校 562 人の高校生が参加しました。</p> <p>高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。</p> <p>【本年開催テーマのコンセプト】</p> <p>2011 年に高校生 ICT カンファレンスがスタートして 9 年目、第 1 回のテーマは「ネットとケータイの問題点」でした。9 年の時を経て、高校生のネット接続ツールは、</p>

	<p>ケータイからスマホへ変わり、Facebook、LINE、twitter や Instagram と次々と新しいツールが登場しながらも、本質が SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）でのコミュニケーションであることに変わりはありません。</p> <p>SNS を使った犯罪やネットいじめは引き続き続いており、不適切動画の投稿による炎上は、対象企業の事業継続を左右する社会問題となっています。</p> <p>このように、様々な問題を抱えつつも、SNS はどうして高校生をはじめ、多くのインターネット利用者を惹きつけるのでしょうか？</p> <p>SNS の魅力やその功罪について熱い議論を通じて、改めて SNS との付き合い方や使い方について考え、提言をまとめます。</p> <p>※平成 21 年 4 月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成 23 年度の小学校を皮切りに、平成 24 年は中学校、平成 25 年度は高等学校で全面实施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しい ICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全に ICT を利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度は、スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。</p>
開催の概要：	<p>【各開催地での内容】※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。</p> <p>(1) 挨拶 (2) 講演 (3) アイスブレイク (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評 (7) サミット参加者発表</p> <p>【東京サミット】</p> <p>(1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p>【最終報告会】</p> <p>(1) 各府省庁への提言発表（プレゼン） (2) 質疑応答・意見交換</p>
各開催地 募集人員等：	<p>募集参加生徒 30 名（各開催地により変動あり） 募集見学者各回 30 名（各開催地により変動あり）</p>
参加参観方法：	参加費・参観無料 [要事前登録]
高校生 ICT Conference2018 実行委員会：	<p>【委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米田謙三（大阪私学教育情報化研究会 副会長） <p>【コアメンバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石田幸枝（公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会理事・消費者団体訴訟室長） ・ 猪股 富美子（お茶の水女子大学 人間発達科学研究所）

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植田 威（特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事） ・ 小城 英子（聖心女子大学） ・ 他、関係者団体、事業者等 <p>【事務局】 安心ネットづくり促進協議会 〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 14 番 6 号 斎藤ビル 2 階 TEL: 03-3562-8850 FAX: 03-3562-1180</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 高校生 ICT Conference 2019 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生がテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

開催地	開催日時	会場
札幌	2019 年 9 月 28 日	内田洋行札幌ユビキタス協創広場 U-cala
帯広	2019 年 9 月 23 日	十勝プラザ
宮城	2019 年 9 月 28 日	東北工業大学一番町ロビー
山形	2019 年 10 月 5 日	米沢伝国の杜
茨城	2019 年 8 月 23 日	茨城県教育研修センター
神奈川	2019 年 8 月 24 日	岩崎学園
新潟	2019 年 8 月 20 日	新潟コンピュータ専門学校
石川	2019 年 8 月 25 日	金沢市リファーレ会議室
長野	2019 年 9 月 28 日	安曇野市明科公民館
静岡	2019 年 9 月 29 日	専門学校 静岡電子情報カレッジ 森下町キャンパス
愛知	2019 年 10 月 19 日	名古屋女子大学
大阪	2019 年 9 月 1 日	内田洋行大阪ユビキタス協創広場 CANVAS
奈良	2019 年 9 月 29 日	帝塚山大学 奈良・学園前キャンパス
高知	2019 年 8 月 14 日	オーテピア
福岡	2019 年 9 月 21 日	LINE Fukuoka
佐賀	2019 年 9 月 22 日	佐賀大学
長崎	2019 年 8 月 8 日	諫早文化会館中ホール
大分	2019 年 8 月 25 日	ホルトホール大分
鹿児島	2019 年 8 月 17 日	鹿児島大学
サミット	2019 年 11 月 3 日(祝)	東京ユビキタス協創広場 CANVAS (内田洋行)

東京サミットへは各地域で独自で実施した情報モラル・リテラシー啓発サミットからのオブザーバー参加者を招待予定。(サミット熟議のみ参加) ※2018 年度実績：福井、沖縄

<p>概要</p>	<p>高校生、教員、企業関係者など 79 名の参加者を得て、人はなぜ SNS を使うのか？～改めて考える SNS の使い方～をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>【リアル熟議】 司会進行・主旨説明 実行委員長 米田謙三 様 高校生 ICT Conference の概要及び本日の大まかな流れを説明していただきました。</p> <p>開会の挨拶 総務省 近畿総合通信局 電気通信事業課 課長 下村 英治 様 総務省や近畿総合通信局での、取組み、高校生 ICT Conference への期待などについて、お話をいただきました。</p> <p>第一部 事業者による講演 株式会社サイバーフェリックス カスタマーサクセスマネージャー 堀口 創平 様 DQ ワールドというコンテンツの紹介からこれから考えていかなければならない情報のリテラシー能力を説明してもらいました。コンテンツは全て無料で使えます（今後は有償化する可能性あり）。また堀口さんは現在現役の大学 4 年生でもあり、高校生に近い立場からネットに関する問題や話題も提供してくださいました。 下記参考まで 8 つのスキルです。 The 8 core DQ Citizenship Skills Children Need: Digital Citizen Identity Ability to build and manage a healthy congruent identity online and offline with integrity. Screen Time Management Ability to manage one’s screen time, multitasking, and one’s engagement in online games and social media with self-control. Cyber Bullying Management Ability to detect cyber-bullying situations and handle them wisely. Cyber Security Management Ability to protect one’s data by creating strong passwords and to manage various cyber attacks. Privacy Management Ability to handle with discretion all personal information shared online to protect one’s and others’ privacy. Critical Thinking Ability to distinguish between true and false info, good and harmful content,</p>
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

and trustworthy and questionable contacts online.

Digital Footprints

Ability to understand the nature of digital footprints and their real-life consequences and to manage them responsibly.

Digital Empathy

Ability to be empathetic towards one's own and others' needs and feelings online.

グーグル合同会社 Trust & Safety チーム 服部 弘幸 様

まずはグーグルの事業紹介からはじまり、同社が取り組むインターネットの安心・安全な活用のための取り組みや情報リテラシーについて、詳しい事例を交えてわかりやすく紹介いただきました。

アイスブレイク、 自己紹介

ファシリテーター・参加校紹介 および グループ分け

参加学校ごとに、簡単に学校紹介と自己紹介をしていただきました。

ファシリテーターを務める大学生から本日の目標と担当グループの発表が行われ、7つのグループに分かれ、アイスブレイクの後、各グループ内で自己紹介などを実施しました。

アイスブレイク、熟議注意点説明

清教学園高等学校 勝田先生

アイスブレイクで緊張をほぐした後、午後の熟議に向け説明いただきました。

みんなで似顔絵を描いたり、その似顔絵を使って自己紹介など盛り上がりました

第二部：熟議「人はなぜ SNS を使うのか？～改めて考える SNS の使い方～」

グループに分かれ大学生がファシリテーターとなって、高校生熟議を開始しました。まずは「SNS」をメモや付箋紙を活用しながら模造紙に貼り付けて意見を整理分類しまとめて行きました。具体的な使い方については、テーマにしぼった班や少し大きなテーマで取り組んだ班などいろいろとありました。熟議の中で分からない事は、企業の方もサポーターとして入っていただき、すばやく答えてくださいました。今回、ファシリテーターは大学生でしたが、事前にフォームやまとめ方を打ち合わせして、滞りなくまとめることができました。(研修を今年も4回ほどファシリテーターのみで実施しました)

今回の大阪の熟議の大切にしたいポイント3つ

1 皆さんや家族、友達が日頃使っている SNS にはどんな機能があって、どんなことができるのか考えてみましょう。その上で SNS を表現する具体的、かつ簡潔な説明を考えてみましょう。

2 SNS の機能や果たしている役割などを踏まえ、SNS の無かった頃と今の違いや SNS の功罪について、良い面と悪い面を考える。例えば、フィルタリングは役割を果たしてきたのか？そもそも私たちの生活に SNS は必要なのか、その理由も含めて考えてみましょう。

	<p>3 SNS の功罪を踏まえ、良い面だけでなく、悪い面があるにも関わらず、これほど多くの人たちが SNS を利用しているのはなぜなのか、上手に利用するにはどうすればいいのかを考えてみましょう。</p> <p>(詳細は別紙「熟議録」をご参照ください)</p> <p>第三部：グループ発表</p> <p>各グループともプレゼンテーションソフトを活用して4分の発表を行いました。(詳細は別紙「グループ発表資料」をご参照ください)</p> <p>今年とはとにかくどのグループも ユニークで多様性がありほぼ内容がかぶらない発表となりました。素晴らしい内容すぐにできる提言もたくさんありました。</p> <p>講評：実行委員長 米田謙三 様</p> <p>今年は原点に戻り SNS のことを再度考えてインターネットを上手に使う事が大切であり、今回のように、SNS をキーワードに高校生が話し合い、まとめ、発表する事は有意義である。また大学生のファシリテーターとのもと本当にいろいろな意見がここまで出てきて大変良かったと思います。今回話し合った事を、学校に戻っても話しあってほしい。次年度以降もいろいろと協力してほしい。未来を創る担い手にエールを送って終わりました。</p> <p>その後、参加生徒により、11月3日に開催される東京サミットに行く代表校の選定投票を行い、羽衣学園高等学校が代表校に選出され、発表されました。</p>
参加校：	<p>四天王寺高等学校 東海大学付属大阪仰星高等学校 大阪国際滝井高等学校 羽衣学園高等学校 関西学院千里国際高等部 大阪市立東高等学校 神戸学院大学附属高等学校 (順不同)</p>
日 時：	2019年9月1日(日) 10:00-17:00
場 所：	内田洋行・大阪ユビキタス協創広場 CANVAS
参加人数：	<p>熟議参加生徒 50人 見学者・関係者 29人(教員・教育関係者・その他) 合計： 79人</p>
熟議グループ：	<p>熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。(敬称略)</p> <p>【グループ名：ハルモニア】7名 四天王寺高等学校2年女子、東海大学付属大阪仰星高等学校2年女子、大阪国際滝井高等学校2年女子、大阪市立東高等学校1年男子、関西学院千里国際高等部2年女子、大阪市立東高等学校3年男子、神戸学院大学附属高等学校1年男子 〔ファシリテーター〕 大阪工業大学 本田 麻衣</p>

【グループ名：ラッキー7】6名

羽衣学園高等学校1年女子、四天王寺高等学校2年女子、大阪国際滝井高等学校2年女子、大阪市立東高等学校1年男子、関西学院千里国際高等部3年女子、神戸学院大学附属高等学校2年男子

〔ファシリテーター〕

京都文教大学 木村 恵理

【グループ名：カラフルブラザーズ】7名

羽衣学園高等学校2年女子、四天王寺高等学校2年女子、大阪市立東高等学校1年女子、大阪市立東高等学校1年女子、関西学院千里国際高等部2年男子、神戸学院大学附属高等学校2年女子、東海大学付属大阪仰星高等学校1年男子

〔ファシリテーター〕

関西学院大学 足立 晴香

【グループ名：ぱわぼ】6名

羽衣学園高等学校1年女子、四天王寺高等学校2年女子、大阪市立東高等学校1年男子、関西学院千里国際高等部3年女子、神戸学院大学附属高等学校2年男子、大阪国際滝井高等学校2年女子

〔ファシリテーター〕

京都文教大学 村上 翔太郎

【グループ名：パーフェクトヒューマン】7名

四天王寺高等学校2年女子、大阪市立東高等学校2年男子、大阪市立東高等学校1年男子、関西学院千里国際高等部3年女子、関西学院千里国際高等部3年女子、神戸学院大学附属高等学校1年男子、東海大学付属大阪仰星高等学校2年女子

〔ファシリテーター〕

帝塚山大学 谷川 紅葉

【グループ名：目】7名

四天王寺高等学校2年女子、大阪市立東高等学校1年男子、大阪市立東高等学校2年女子、関西学院千里国際高等部2年男子、関西学院千里国際高等部2年女子、東海大学付属大阪仰星高等学校1年女子、羽衣学園高等学校3年男子

〔ファシリテーター〕

京都文教大学 竹松 慧美

【グループ名：3S】7名

四天王寺高等学校2年女子、大阪市立東高等学校1年女子、大阪市立東高等学校2年女子、関西学院千里国際高等部2年女子、関西学院千里国際高等部2年男子、東海大学付属大阪仰星高等学校1年男子、羽衣学園高等学校3年女子

〔ファシリテーター〕

パナソニック健康保険組合立松下看護専門学校 南 柚那

3. 主担当

安心ネットづくり促進協議会	事務局
大阪私学教育情報化研究会	会場、什器備品手配 飲食手配、庶務
各団体、事業者等	講演、ノベルティ、資料提供 他

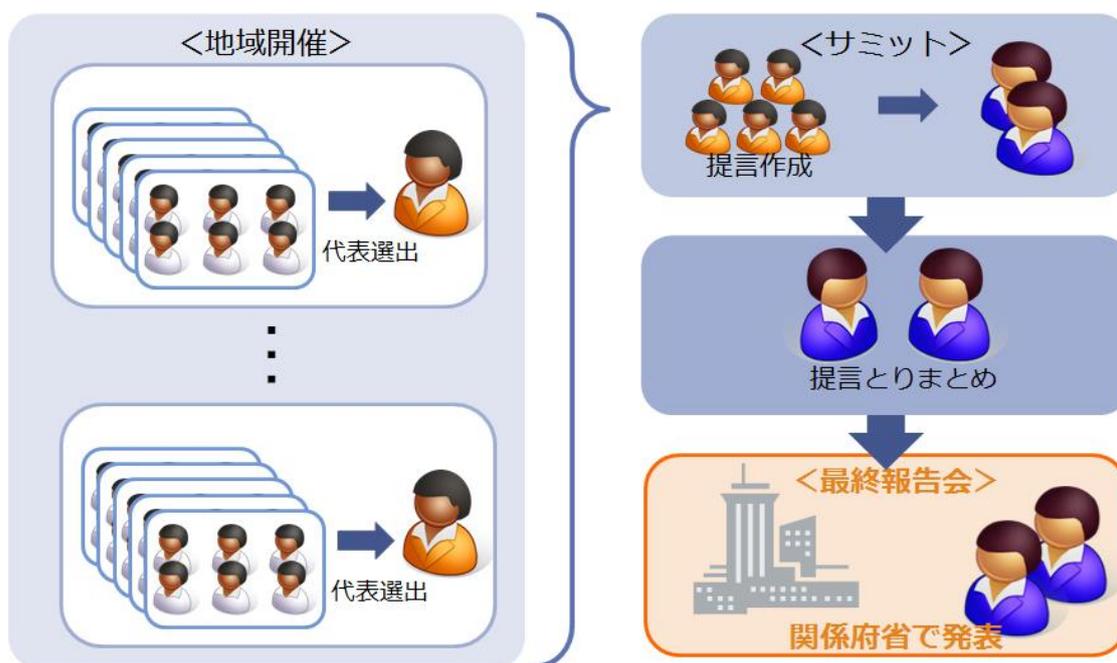
4. 高校生 ICT Conference 2019 サミット

高校生 ICT Conference 2019 サミットは、各地で開催された Conference の成果を高校生の代表として提言をまとめるための場です。その代表者の選考は以下の手順によります。

- 1) 参加が決まった場合、参加生徒を決めていただき、事前に登録をする
- 2) 熟議終了後、参加生徒の投票を基に代表を選出
- 3) 各地の代表者でサミット開催
- 4) サミット終了後、最終報告会で発表する代表を上記手順と同様に選出
- 5) 最終報告会代表者が、サミットの内容を提言にまとめ、最終報告会で提言発表を行う

5. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2019 サミットで検討された提言を、選出された代表者が報告用にとりまとめ、関係府省庁にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを踏る。



6. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応

- 1) グループ発表資料保存（又は模造紙など発表紙面の撮影）
- 2) Conference 終了後、発表内容、講評と併せて高校生 ICT Conference のサイトにアップデート
- 3) 高校生 ICT Conference 2019 サミット終了後、実行委員会にて取りまとめ
- 4) 高校生 ICT Conference 2019 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 5) 最終報告会での発表

以上